



特定非営利活動法人
スペシャルオリンピックス日本・高知
〒781-0321
高知市春野町秋山 2801-15 あじさい園内
TEL&FAX 088-803-2232
E-mail : kochi@son.or.jp

SON・高知☆通信



2020年12月 №.56

2020年後半 SON・高知の with コロナ



志を受け継いで、陸上魂、全集中！

No.55 Contents

- 1.【事務局】続・ライオンズクラブ様のご招待
- 2.【事務局】アスリート、続々入選！
- 3.【事務局】温かいつながり
- 4.【ファミリー投稿】いつでも元気なアスリート
訃報、編集後記



SON・高知の HP を開設
しました！

<http://sonkochi.sakura.ne.jp/>



【事務局】 ライオンズクラブ様より招待頂きました（続編）

例年なら、8月9日の高知市納涼花火大会に高知ライオンズクラブ様からアスリート達を招待していただき、三翠園ホテル屋上で豪快な打ち上げ花火を鑑賞しているところですが、今年は新型コロナウイルスのため花火大会は中止になってしまいました。

ライオンズクラブ様では花火大会鑑賞に代わり、三翠園での屋外焼肉パーティーを企画され、そこにアスリートを招待していただきました。

今号では、当日参加したアスリートの感想を掲載します。

題：ライオンズクラブ様より招待頂きました（続編）

プログラム 名前：小松 剛志 (8才プログラム)

8月11日にライオンズクラブに招待して	もらった食事に参加しました。焼肉だけか
思ったらほかにもいろんな物がでてき	ました。焼肉はたれをつけて食べるとと
ったので軽く焼く感じにしました。全部	の食事がおいしかったです。
花火は、家庭用の花火を使いました。	手に持ったり回したりして楽しみまし
た。中を見てもみると、たくさんのお菓	子が入っていました。
食事は豪華な物がいっぱい食べれてう	れしかったです。全部完食しました。
ライオンズの皆様とても楽しかったです。	本当にありがとうございました。

私は、ライオンズクラブの皆さんと一緒に、おいしい、お肉とサラダを食べて、とっても楽しかったです。

食事を食べて終わって、手持ち花火をして、花火がとてもきれいに見れて、楽しい一日で良かったです。又、来年以降もライオンズクラブさんと一緒に、ボウリング大会や交流会や食事会を SON の皆さんと、楽しくすごしたいです。

齋藤香琳



【事務局】 SON・高知のアスリートたち、続々と入選！

第74回高知県美術展覧会（県展）工芸部門において、豊嶋祐一郎くんが新人賞を受賞しました。

受賞した作品は、素材である信楽の粘土をちぎったり、丸めて叩いたり、伸ばしたりしたうえで、ハンコを一気に押して仕上げたそうです。

タイトルは「Tanbo ～スタンピング オリベ」。タイトルやコンセプトは祐一郎くんが表現したいことを優先させたうえで、お母さんが支援を行いました。Tanboは田んぼの意味で、田んぼの風景を切り取った季節感を表現しています。スタンピングはハンコ押しの意味、オリベは織部焼の伝統的な釉薬の名前だそうです。

祐一郎くんは、小さい頃から、母さんが見ていた「やきもの探訪」のビデオを繰り返し見ていて、焼き物ができる過程を漠然とわかっていたようです。



祐一郎くんの母 聡子さん談

「実はエピソードがありまして、当初は県展に出品することは考えていませんでした。今年作品を二つ完成させ、別の作品をスピリットアートに出品し、搬入を済ませたと思ったら、作品が落下して割れてしまいました。そしてもう一つの作品を2日後の県展にダメ元で出品したところ審査員の目に留まり、新人賞受賞となりました。」

作品は、10月9日から25日まで、高知市文化プラザ「かるぽーと」において展示されました。

これからもSOでスポーツを頑張るとともに、作品を作り続けてください。



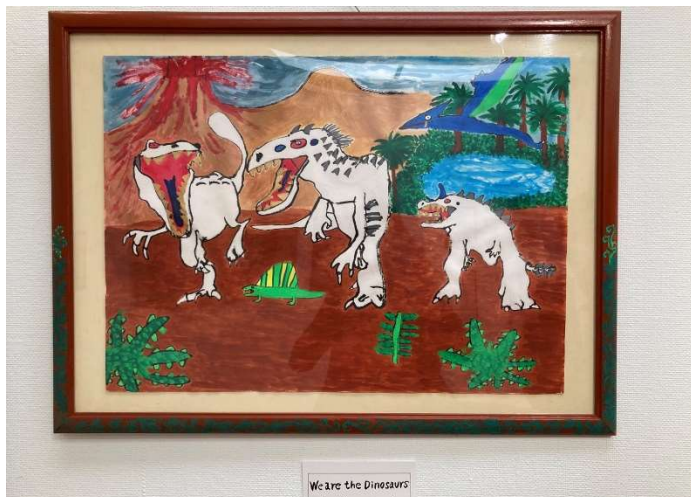
第24回スピリットアート(高知県障害者美術展)が10月9日から18日まで県立美術館において開催されました。SON・高知からは4名のアスリートが書道と絵画部門に入賞を果たしました!

私も初日に鑑賞してきましたが、個性豊かな作品ばかりで、すっかり魅了されてしまいました。

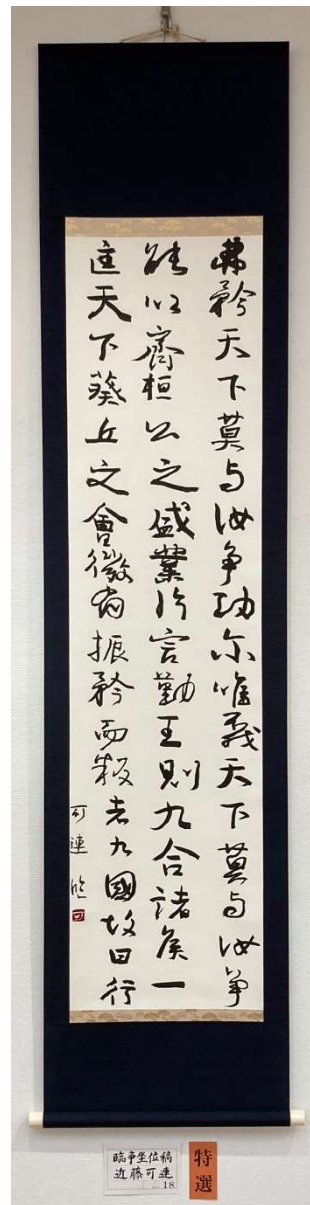
コロナ禍での開催のため、表彰式は残念ながら中止となりましたが、また来年に向け創作活動頑張ってください。



大里美欧さん：書道（入選）



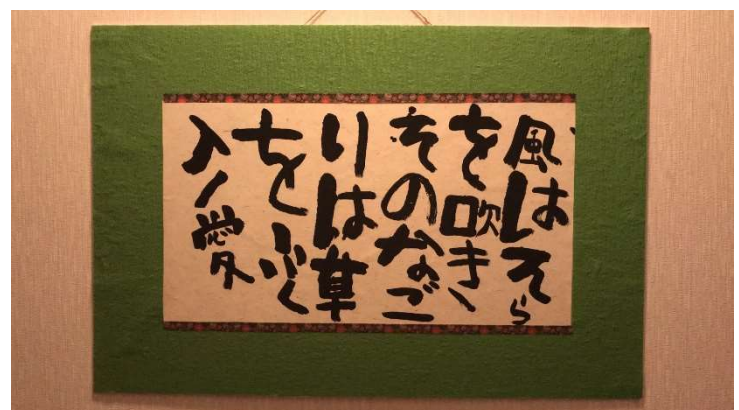
近藤可連くん：絵画（入選）



近藤可連くん
書道（特選）



川村伯宏くん
書道（褒状）



山本入愛くん：書道（入選）

（理事長 仲 慶三）

SON・高知は皆様からの支援・賛助により活動を支えられています。

事務局内では、兼ねてより、そうしたご支援いただいている企業様にご挨拶にお伺いしたいと話し合ってきており、仲理事長と2日間に分けて、計13社の企業訪問を決行しました。もちろん、きっちりと感染予防対策をしておの訪問です。

アポイントなしのまま、突然、訪問したにもかかわらず、どの企業様も温かく迎えていただき、お話を聞きますと、支援の中に込められた想いを感じることができました。

訪問時のエピソードを一つ、紹介します。

フレンズ司法書士事務所様を訪問した際のことです。洗練された社屋に少し緊張気味に入っていくと、代表者山崎様はご不在で、スタッフの方が山崎様に連絡を取ってくださったのですが、あいにく外出先から戻ることができないとのことのお返事でした。お約束をしていた訪問ではなかったもので、新しいニュースレターをお渡しして、去ろうとしていたところに、山崎様からスタッフの方宛に電話が入り、『「いただいた小物入れを使っているよ」と伝えてくださいとのことでした」と言いながら、仲諒子ちゃんの折ったチラシの小箱を見せしてくれました。さらに「会議の際の消しゴムかすや、デスク周りの小物を入れたりと活躍していますよ。」と社内のあちこちに置いているのを見せてくれました。この言葉に嬉しさが弾けそうでした！と、同時にいつ渡したのかの疑問が・・・聞くと、昨年のライオンズクラブ様との交流ボウリング大会でもらったということでした。



仲理事長も気づかぬうちに諒子ちゃんが交流を深めていたことにも嬉しい驚きでした。諒子ちゃんは愛嬌があって、社交的な可愛い女の子です。きっと、ボウリング大会のときに持ち前の社交性を発揮したのでしょうね。



ファインプレーです！

フレンズ司法書士事務所様は毎年、交流ボウリング大会にご出席くださり、ニュースレターも毎号見てくださっているとのことでした。

他の企業様からもSON・高知の活動への温かい見守りのお言葉をいただき、訪問することで、たくさんの気づきと感謝の気持ちを深めた次第です。距離を保つ、リモートによる対面などが進む時流の中ではありますが、やはり実際会うことで、お互いの気持ちを、その時間を共有することの大切さを感じました。

今回、訪問した企業様以外の個人様からも温かいご支援をいただいております、個別に訪問することはできませんでしたが、支援に託された想いをしっかりと受け止めていきたいと思っております。

賛助いただいている企業様・個人様への私たちがのける恩返しは、感謝の気持ちを常に心に留めて、たくさんの笑顔あふれる活動をし、その喜びを発信していくことだと思います。

SON・高知は歩み続けます。

(事務局長 近藤 亜矢)

【ファミリー投稿】 いつでも元気なアスリートたち！



題：長カ、た自肅生活		バスケット	プログラム	名前：田所 崇
寒くなつて来ました。インフルエンザの予防接種に行つて来ました。また、コロナが増える心配ですが、ほくは、毎日仕事を頑張っています。朝、体温を測り、マスクをして、仕事に行きます。仕事場には、今消毒液があります。手洗い、消毒を1日何回もして、仕事をしてい SOには、もうずと欠席していました。姉さんが、6月から9月まで、出産で、帰つて来ていたの、家族みんな自肅生活をしていました。好きな映画も、と見せていせん。姉さんが、無事出産して、帰りました。これから感染対策をして、SOに参加したいです。映画を見たり、ソタヤに行ったり、外食もしたいです。でもコロナが心配なので、少しにします。早くコロナが終わ、てほしいです。				



【訃報】 陸上プログラム運営委員 大里宏城氏

去る 11 月 11 日に、陸上競技運営委員の大里宏城さんがご逝去されました。

8 日にはアスリートが出場した陸上競技会の応援に行かれており、突然の訃報にまだ気持ちの整理がつかず、悲しみでいっぱいです。

大里さんは、SON・高知で陸上競技が立ち上がった時から愛娘の美欧さんとプログラムに参加されるとともに、ヘッドコーチなどを務め SON・高知の陸上競技の発展に情熱をもって尽くされ、多くのアスリートを育ててこられました。

その間、大阪、福岡、愛知の 3 度のナショナルゲームには陸上競技責任者としてアスリートを先導されました。特に 2011 年にアテネで開催された夏季ワールドゲームには、高知から初めて美欧さんの出場を果たし、「アテネ世界大会は美欧にとってただ一度の機会、2011 年は一生忘れることのできない年です。」と美欧さんへの愛情と喜びを手記に綴っています。

大里さん、長年 SON・高知のため情熱を注がれてきた大里さんとお別れは本当につらいことですが、これまで築いてこられた財産を私たちは受け継ぎ発展させてまいります。これまで本当にありがとうございました。

(理事長 仲 慶三)



編集後記

2020 年もあっという間に終わりを迎えました。この一年間は新型コロナに始まり、新型コロナに終わる衝撃の一年であり SON・高知のみならず全世界が振り回されることとなりました。しかしながら、全世界で人間の英知を結集し、この未知のウイルスに対抗し続けており、来年こそは感染の収束と健やかな年の訪れを期待したいものです。

また、年末には陸上運営委員の大里さんが亡くなられるという、SON・高知にとって大変悲しい出来事もありました。大里さんは、SON・高知発足当初から陸上プログラムの先頭に立って運営をけん引してくださっており、アスリートやファミリーにも大きな悲しみが拡がりました。しかしながら、アスリート自身が元気よく、明るく過ごしていくことが大里さんへの最大の供養になると信じ、来年も元気にプログラムを開催していきます。なお、大里美欧さんは、叔母様が在住されている福岡県のグループホームに入所し、新しい生活をはじめられたようです。

来年の予定はまだ未定の部分が多いですが、高知地区での競泳競技会の実施や、各プログラムコーチクリニックの開催、2022 年に広島で開催されるナショナルゲームに向けたプログラム活動など、今年できなかったことも含め、忙しい年になりそうです。アスリートには元気よく頑張ってもらい、我々事務局員やファミリーもアスリートに負けないよう取り組む必要があります！

(副理事長 友田 一志)



アスリート・コーチ・ボランティア募集中！

SON・高知では、一緒に活動するアスリート、コーチ、ボランティアを常時募集しています。

SO では、スポーツ活動に参加する知的障害のある人を「アスリート」と呼んでいます。知的障害のある 6 歳以上の人ならば、誰でもアスリートとして参加する資格があります。また、スポーツトレーニングプログラムでは、多くのコーチが活躍しています。専門的な技能や競技経験が無くてもぜひご参加ください。コーチ育成のための研修会も開催しています。

SO はアスリートを中心に、そのファミリーとボランティアがともに活動することで成り立っています。出来ることを出来る範囲からで結構です。ぜひご参加ください。

【お問い合わせはこちら】

特定非営利活動法人
スペシャルオリンピックス日本・高知

〒781-0321

高知市春野町秋山 2801-15 あじさい園内

TEL&FAX 088-803-2232

E-mail : kochi@son.or.jp

賛助会員協力をお願い

スペシャルオリンピックス日本・高知(SON・高知)では、活動を支援していただける「賛助会員」を募集しております。スペシャルオリンピックスの活動は、個人、企業・団体などのご寄付、協賛によって支えられています。SON・高知の活動主旨をご理解いただき、運営と活動のご支援をいただきたく、賛助会員を募集しております。個人・団体とも何口でも結構です。どうぞ協力をお願い申し上げます。

賛助金の年額は 個人様：一口 3,000円
企業・団体様：一口 10,000円 となっております。

送金は、下記の銀行口座へのお振込みにてお願いいたします。

銀行口座：四国銀行本店営業部 普通預金 5139294

特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・高知

理事 仲 慶三

※お問い合わせは会計責任者 高石美香(携帯 090-6881-4595)までお願いいたします。

ご支援、ご協力戴いた方については本機関紙やホームページ、各行事でのご紹介等何らかの形で必ず、PR をさせて頂きます。

このニュースレターは、富士ゼロックス四国(株)高知営業所様のご協力で印刷しております。

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・高知